

講座内容

北九州産業人材育成フォーラム 社会人育成プログラム

経営者・後継者や後継者候補の方向け

「自社の魅力認識講座」

新たな人材を自社に迎え入れ、企業競争力の一翼を担ってもらうための環境を整備することは経営者に求められていることのひとつです。
人材戦略や物理的な職場の整備を行う前に、まずは、自分の会社がお客様に選ばれ続けている理由など、多面的に分析し、把握することが重要な最初のステップとなります。
経営者になり間もない方、近々経営をバトンタッチされる方、後継者には選ばれてはいないが数年以内には会社を継ぐことになりそうな方にピッタリなプログラムとなっています。

本講座に参加するメリット

- 1 自社の事業について限られた時間内で集中して考えることができる
- 2 経営を担うという同じ同士で意見を出し合うことが良い刺激となる
- 3 公的機関との繋がりを持つことで、多くのサポート機会を得ることが可能になる

講座	実施日	カリキュラム内容	実施方法
事前説明会	5月27日(火) 14:00~15:30	① 講座の詳細、スケジュール、受講にあたっての注意点の説明 ② 「4つのテーマ」と「15の対話の視点®」を学ぶ ③ ウォームアップとして、3つの練習に取り組む 【開講時(第1回)までの課題】 「15の問い」を活用し、自社の沿革を創業時もしくはその前から「これまで」を書き出す。	対面
第1回	6月24日(火) 14:00~17:00	① 自社の沿革について整理する ② バリューチェーン書き出し 【次回までの課題】 ① バリューチェーンの完成 ② 「15の対話の視点®」を活用し、将来ビジョンを書き出す	対面
第2回	7月25日(金) 14:00~17:00	① 将来ビジョン ② アクションプラン	対面
第2.5回	別途、個別に 日程設定	前回までの取り組みを踏まえて”個別”に質疑応答	オンライン
第3回	8月26日(火) 14:00~17:00	① アクションプラン ② ミニ発表会 ③ 意見交換	対面

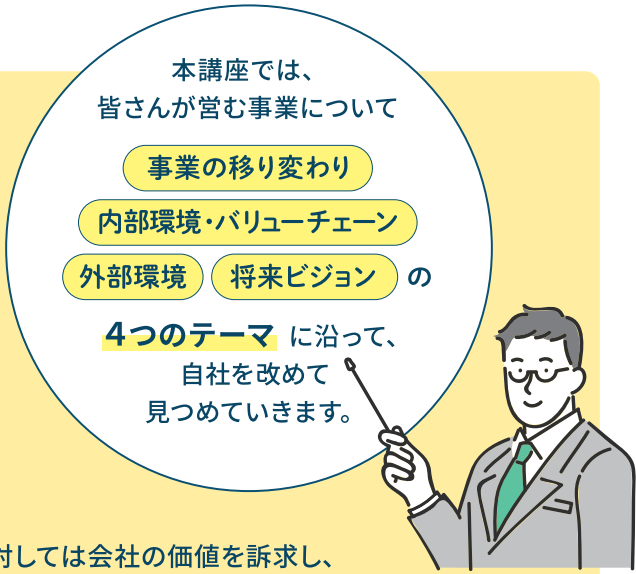


開講に向けて

急速に変化する社会において、時代の流れを掴み、先読みすることは難しくなっています。

このような状況において、持続可能な経営を実現するためには、現在経営を担う人材やこれから経営を牽引していく人材が、自社の強みや魅力を再認識し、経営判断に積極的に活かしていくことが重要です。

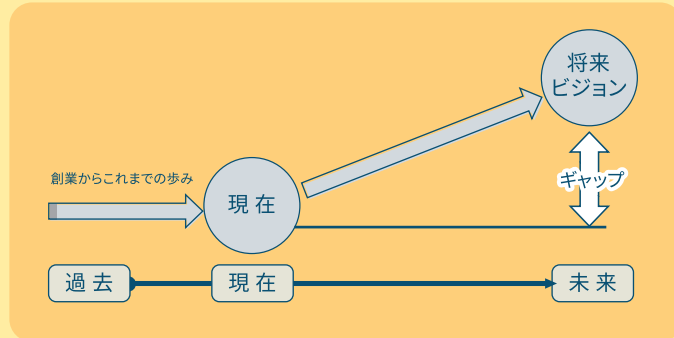
また、自社の強みや魅力を社内に浸透させることで、社員の働きがいを高める組織文化の醸成につながり、社外に対しては会社の価値を訴求し、ブランドイメージを高め、マーケティングや人材の確保にも効果をもたらします。



1 創業(過去)から現在までの自社の事業の移り変わりを振り返ることで、自社らしさ・他社とは異なる会社の特徴を生み出した理由や背景が見えてきます。さらに、業務運営のしくみや取引先との関係が再認識できます。

2 社内外の環境と業務の流れを見つめ直す機会を持つことでのメリットもあります。日々の業務が当たり前になりすぎて普段は気付かない自社の強みや魅力(とその逆も)も多角的に可視化することができます。

3 これまでの事業の移り変わりを振り返り、内部・外部環境を観察することで、現状や業務の流れについての理解を深めるだけでなく、会社や事業の将来をイメージすることにも活用できます。こうした取り組みにより、描いたビジョンを具現化することができます。



若手経営者(経営者になりたての方・後継者や後継者の候補の方)だけでなく、この機会を活かし自社の魅力を再確認し、現状に甘んじることなくこれからを切り拓いていきたい、自社の魅力を次世代人材に伝え、また社外に訴求したいと考えている皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

若手経営管理者等
若手経営者、後継者や後継者候補の方

この機会を活用して、自社の強みや魅力を中心に自社を改めて理解したうえで

- 社内で共有することで会社全体に魅力を浸透し経営力向上を目指したい
- 人材募集や人材確保のために活かしたい、協力会社や取引先等に自社を知っていただくために活かしたい

本講座の
対象

受講された方の声

- 自社のこれまでの事業についての振り返りと整理整頓により気づきを得た。
- 講座の参加を通じて、特に自社の歴史を理解したことは大きかった。
- 現在の会社の事柄に関しても、改めて関係者に聞くことにより、再認識したことや新たに認識したこともあった。
- 会社を社外に紹介する際に、今まで以上に深く話をするにつなげた。特に、業務の難しさややりがいの紹介について伝えられることが増えた。
- 誇れる企業、会社のベースにある沿革は全社員に共有することで、経営層の苦勞を肌に触れることが出来、「頑張る」気運が高まった。
- バリューチェーンの深堀りから、これまでやってきたことについて、測定、評価が出来たことで、課題が明確になり更なるカイゼンへつなげていくことができた。



開催方法と回数 ワークショップ型講座 + 個別WEB形式での取組み

集合形式でのワークショップ型講座3回
▶ 各回3時間、1ヶ月程度の間隔で3回実施

個別WEB形式での取組み1回
▶ 集合形式ワークショップの第2回と第3回の間
WEBツール(Teams、Zoom等)による個別WEB形式での取組み(90分程度)

講座で使用する主な枠組み(ご参考)

「4つのテーマ」と「15の対話の視点®」

▶ 自社の振り返りと魅力や将来ビジョンを考える枠組み

「バリューチェーン(業務の流れ)」

▶ 現在の「バリューチェーン」の特徴、将来を見据えた「バリューチェーン」のあるべき姿/ありたい姿などを考える枠組み

「経営デザインシート」

▶ 将来ビジョンとビジョンの実現に向けて取り組むべき課題や具体的行動を考える枠組み

「人材確保ツール」

▶ 専門人材や若手人材の効果的な確保のための自社の魅力や求める人材像について整理するツール(補助的に使用)

主任講師 **大山 雅己** (おおやま まさみ) / 合同会社ゆわく 代表社員

1987年 三井信託銀行(現 三井住友信託銀行)入行。
事業会社業務等を経て事業再生・事業再編・事業承継支援等に從事
2007年 同行退職
2008年 ジュピター・コンサルティング株式会社設立、代表取締役就任、
中小企業基盤整備機構 事業承継コーディネーター就任(～2021年3月)
2016年 日本証券アナリスト協会PB資格試験委員就任
2018年 合同会社ゆわく設立 代表社員就任
2019年 千葉商科大学商学研究科客員教授就任(企業倫理とガバナンス、計数マネジメント)
知的資産経営を活かした中小企業支援や地域金融機関に対するアドバイスに取組んでいる。
著書に『対話力ですすめる事業性評価がよくわかる本』(2017年 経済法令研究会)ほか多数。

